



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安楽亭

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 安部 一夫

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 4,146 | △2.4 | 39 | △77.5 | 33 | △80.2 | 39 | △58.1 |
| 28年3月期第1四半期 | 4,246 | △0.7 | 175 | △4.5 | 169 | 1.0 | 93 | △69.4 |

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 32百万円 (△68.6%) 28年3月期第1四半期 103百万円 (△66.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | |
|-------------|-------------|---|--------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 1.84 | — | — | — |
| 28年3月期第1四半期 | 4.38 | — | — | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|---|-------|---|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 14,050 | — | 6,195 | — | — | 44.1 |
| 28年3月期 | 14,257 | — | 6,162 | — | — | 43.2 |

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 6,195百万円 28年3月期 6,162百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 29年3月期 | — | — | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|------|------|------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 |
| 第2四半期(累計) | 8,840 | 1.6 | 400 | 0.0 | 370 | △4.6 | 270 | 16.9 | 12.62 |
| 通期 | 17,530 | 2.6 | 580 | 10.7 | 520 | 4.2 | 320 | △20.8 | 14.96 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 29年3月期1Q | 21,504,347 株 | 28年3月期 | 21,504,347 株 |
| 29年3月期1Q | 116,280 株 | 28年3月期 | 116,280 株 |
| 29年3月期1Q | 21,388,067 株 | 28年3月期1Q | 21,389,039 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、株価、為替の不安定な動きを背景に企業収益の改善ペースの鈍化や個人消費の停滞が続いております。また、中国経済の減速懸念や英国のEU離脱問題、原油安等、世界経済の下振れリスクが顕在化し始める等、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、牛肉等の原材料価格の高騰や人手不足が継続しており、また、消費者の節約志向が強まり外食の頻度を減らす世帯が増える等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様のご要望に合う魅力あふれる「安全・安心」に配慮した商品の提供に加え、おもてなしの心を込めたサービスの提供に努めてまいりました。

また、成長戦略を実現するために、既存店舗の改装に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高41億46百万円（対前年同期比2.4%減）、営業利益39百万円（対前年同期比77.5%減）、経常利益33百万円（対前年同期比80.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益39百万円（対前年同期比58.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は196店舗であります。内訳は直営155店舗、暖簾8店舗、FC33店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「笑顔満開フェア」、「フレッシュマンゴーフェア」、「GWの後も大満足クーポンフェア」、「春風るんるん宝くじ」、「スタミナアップ応援フェア」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は35億55百万円（対前年同期比2.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は2億24百万円（対前年同期比20.0%減）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、5月23日に「大宮駅前店」を出店し、25店舗であります。内訳は直営22店舗、暖簾1店舗、FC2店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「春の行楽応援フェア」、「フレッシュマンゴーフェア」、「GWおでかけ満喫フェア」、「ハイボールフェア」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は5億13百万円（対前年同期比0.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は11百万円（対前年同期比78.8%減）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営3店舗、FC6店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「和牛カルビ屋（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「龍饗（中華）」、「AGRICOCO（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は77百万円（対前年同期比7.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は4百万円（対前年同期比14.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ2億6百万円減少し、140億50百万円となりました。これは、借入金の返済等による現金及び預金の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ2億39百万円減少し、78億55百万円となりました。これは、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ32百万円増加し、61億95百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました業績予想から変更していません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,249千円増加しております。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,232,869 | 1,883,787 |
| 受取手形及び売掛金 | 350,384 | 280,695 |
| 商品及び製品 | 146,473 | 138,174 |
| 仕掛品 | 778 | 2,778 |
| 原材料及び貯蔵品 | 585,936 | 495,488 |
| 前払費用 | 204,629 | 210,418 |
| 繰延税金資産 | 77,001 | 75,858 |
| その他 | 111,762 | 185,853 |
| 貸倒引当金 | — | △777 |
| 流動資産合計 | 3,709,836 | 3,272,278 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,447,150 | 2,631,163 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 58,426 | 76,346 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 217,656 | 253,205 |
| 土地 | 4,978,239 | 5,004,097 |
| リース資産（純額） | 135,248 | 125,223 |
| 建設仮勘定 | 3,288 | 2,715 |
| 有形固定資産合計 | 7,840,009 | 8,092,752 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 72,589 | 63,022 |
| 長期貸付金 | 8,309 | 7,859 |
| 長期前払費用 | 16,363 | 19,827 |
| 繰延税金資産 | 93,679 | 93,709 |
| 敷金及び保証金 | 2,358,936 | 2,362,358 |
| その他 | 70,993 | 48,017 |
| 貸倒引当金 | △27,955 | △26,975 |
| 投資その他の資産合計 | 2,592,916 | 2,567,820 |
| 固定資産合計 | 10,547,790 | 10,778,694 |
| 資産合計 | 14,257,627 | 14,050,973 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 563,250 | 425,893 |
| 短期借入金 | 549,289 | 553,084 |
| リース債務 | 47,233 | 47,233 |
| 割賦未払金 | 134,266 | 148,333 |
| 未払金 | 337,911 | 356,475 |
| 設備関係未払金 | 137,577 | 80,419 |
| 未払費用 | 477,472 | 542,483 |
| 未払法人税等 | 398 | 4,736 |
| 未払消費税等 | 81,427 | 114,447 |
| 賞与引当金 | 86,912 | 51,140 |
| 転貸損失引当金 | 7,537 | 7,537 |
| その他 | 396,246 | 331,787 |
| 流動負債合計 | 2,819,523 | 2,663,571 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,008,827 | 3,870,556 |
| リース債務 | 101,587 | 89,779 |
| 長期割賦未払金 | 431,352 | 504,291 |
| 繰延税金負債 | 103,419 | 103,479 |
| 役員退職慰労引当金 | 319,987 | 322,348 |
| 転貸損失引当金 | 43,152 | 41,268 |
| 退職給付に係る負債 | 189,698 | 180,492 |
| その他 | 77,454 | 79,954 |
| 固定負債合計 | 5,275,478 | 5,192,170 |
| 負債合計 | 8,095,001 | 7,855,741 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,182,385 | 3,182,385 |
| 資本剰余金 | 2,537,261 | 2,537,261 |
| 利益剰余金 | 523,172 | 562,427 |
| 自己株式 | △69,349 | △69,349 |
| 株主資本合計 | 6,173,469 | 6,212,724 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △10,844 | △17,493 |
| その他の包括利益累計額合計 | △10,844 | △17,493 |
| 純資産合計 | 6,162,625 | 6,195,231 |
| 負債純資産合計 | 14,257,627 | 14,050,973 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 4,246,247 | 4,146,047 |
| 売上原価 | 1,529,087 | 1,482,695 |
| 売上総利益 | 2,717,159 | 2,663,351 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,541,364 | 2,623,763 |
| 営業利益 | 175,795 | 39,587 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7,468 | 392 |
| 受取配当金 | 1,062 | 1,197 |
| 受取地代家賃 | 2,644 | 2,543 |
| 貸倒引当金戻入額 | 181 | 202 |
| その他 | 9,406 | 12,547 |
| 営業外収益合計 | 20,762 | 16,884 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 24,319 | 20,561 |
| その他 | 2,334 | 2,202 |
| 営業外費用合計 | 26,654 | 22,764 |
| 経常利益 | 169,903 | 33,707 |
| 特別利益 | | |
| 受取保険金 | 216 | 30,897 |
| 特別利益合計 | 216 | 30,897 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 5,800 | — |
| 減損損失 | 5,202 | — |
| 貸借契約解約損 | 9,075 | — |
| 特別損失合計 | 20,077 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 150,042 | 64,605 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 34,556 | 21,259 |
| 法人税等調整額 | 21,815 | 4,091 |
| 法人税等合計 | 56,371 | 25,350 |
| 四半期純利益 | 93,670 | 39,255 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 93,670 | 39,255 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 93,670 | 39,255 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 10,232 | △6,649 |
| その他の包括利益合計 | 10,232 | △6,649 |
| 四半期包括利益 | 103,903 | 32,606 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 103,903 | 32,606 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|---------|--------|-----------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 安楽亭業態 | 七輪房業態 | その他業態 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,651,362 | 511,608 | 83,276 | 4,246,247 | 4,246,247 | — | 4,246,247 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,651,362 | 511,608 | 83,276 | 4,246,247 | 4,246,247 | — | 4,246,247 |
| セグメント利益 | 280,553 | 52,406 | 5,159 | 338,119 | 338,119 | △162,323 | 175,795 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては5,202千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|---------|--------|-----------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 安楽亭業態 | 七輪房業態 | その他業態 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,555,326 | 513,406 | 77,314 | 4,146,047 | 4,146,047 | — | 4,146,047 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,555,326 | 513,406 | 77,314 | 4,146,047 | 4,146,047 | — | 4,146,047 |
| セグメント利益 | 224,302 | 11,126 | 4,417 | 239,846 | 239,846 | △200,258 | 39,587 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「安楽亭業態」のセグメント利益が1,258千円増加し、「七輪房業態」のセグメント利益が1,917千円増加し、「その他業態」のセグメント利益が73千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。